

発表と共有

発表コメントを抜粋して紹介しています。

防波堤は
安心感のある風景でもある。
災害時のことも常に念頭に。



子供・若者にとって
「こう成りたい！」
があるまちへ

蒲郡の象徴的な
モニュメントや
フォトスポットを



土産物を買えるエリアを
しっかりつくろう

平日の市民、週末の観光、
過ごし方を想定しよう

みなとオアシス・緑地を
国際大会ができるような
スポーツの場に



ベイパーク周辺、竹島園地
それぞれの魅力を生かした
過ごし方ができるように

駅から海を感じられる
賑わいの軸線づくり



身近な水族館の良さを
生かしなが、
蒲郡のシンボルとしての整備や
アクティビティを

音楽や食べることを
楽しめるように

陸のルート、海のルート、
バリアフリーなど、
「移動」をしっかり計画しよう

アンケートより

1) ワークショップに参加して

- ・たくさんの面白い意見が出て楽しかった！
- ・「一日をどうすごすか」を考えたとき、今後どうなっていったら楽しいかを想像しやすかった。
- ・「なりきり」の場面では、立場をふまえて、必要なもの、変えるべきものがよくわかりました。

3) その他

- ・中学生にもこんな会をひらいて、考える機会を与えてみたら、蒲郡の今後につながるかもと思います。
- ・忘れないうちに次の開催を！
- ・公共空間で市民が企画するための勉強会みたいなこともやってもらえたら嬉しいです。

2) 印象的だったこと。

- ・平日と休日、市民と観光客を同時に考えていくべきだと思いました。
- ・共通のイメージとして、飲食や買い物や憩いを求めたくなるエリアだということ

※ 通信では、ワークショップ意見・アンケート共に、一部の紹介になりますが、詳細の記録を分析し今後の検討に生かして行きます。

蒲郡市東港地区まちづくりワークショップふり返し通信 vol.02

発行日：2022年7月22日

発行：蒲郡市東港地区開発推進室（TEL / 0533-66-1281）

編集：「東港地区」検討チーム

協力：愛知工業大学

<「東港地区」検討チーム>

忽那裕樹 長町志穂 名畑恵 安井秀夫 益尾孝祐

蒲郡 東港地区 ワークショップ

一回の報告です。
ふり返し通信
vol.02

東港地区のまちづくりを推進するため、地域のみなさんとまちづくりの専門家チームが共に考えるためのワークショップと社会実験を実施しています。この通信では、第2回の様子をお届けします。



テーマ
**場所毎の魅力と
課題を掘り下げよう！**

2022年6月5日（日）10:00より、第2回蒲郡市東港地区まちづくりワークショップを開催しました。
蒲郡市民の皆様、学生、専門家、行政等約40名の方にご参加頂きました。

*

全プログラム

第1回

まち歩きによる東港地区のお宝再発見

日時 | 2022年5月22日（日）13:30~16:30

場所 | (まち歩き) 東港地区(まち歩き)
(ワークショップ) 蒲郡市勤労福祉会館3階

第1回 あかり ミーティング

夜景観察まちあるきワークショップと
ミニ照明実験

日時 | 2022年5月28日（土）
19:00~21:00

場所 | 東港地区

第2回

場所毎の魅力と 課題を掘り下げよう！

日時 | 2022年6月5日（日）
10:00~12:00

場所 | 蒲郡市勤労福祉会館 3階

今回は東港の中のエリア毎の魅力や課題、エリアをつなぐ回遊や、時間軸の考え方、大切な景観や「らしさ」など、発散的に沢山出すことを目的としてワークショップを行いました。ワールドカフェという手法をつかい、参加者もテーマもシャッフルしながら進める忙しいワークでしたが、次の6つのテーマについて深めることができました。最後には各班発表を行い、全体で共有しました。

テーマ一覧

- A エリア 駅と海を結ぶ目抜き通り・竹島ふ頭について
- B エリア 海辺のみなと東（竹島ふ頭〜ベイパーク周辺）
- C エリア 竹島周辺エリア（水族館・竹島園地・竹島）
- D エリア 海辺のみなと西（みなとオアシス・緑地）
- E 視点 大切にしたい景観やアクティビティについて（朝昼夜の時間軸も念頭に）
- F 視点 ○○の立場になりきって一日をどう過ごすか？（回遊、移動手段など）

第二回 WS まとめ地図

